事例No.	2789
公表年度	R5
団体の属性	町村
団体名	宮城県加美町

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・移住定住 ・人材確保・育成

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

地域資源を活かしたクリエイティブなまちづくり

出典

令和４年度ふるさとづくり大賞事例集



地域資源を活かしたクリエイティブなまちづくり

宮城県加美町（かみまち）

DATA

事　　例　名：地域資源を活かしたクリエイティブなまちづくり
所　　在　地：宮城県加美郡加美町字西田三番5番地
連　　絡　先：TEL 0229-63-3115
　　FAX 0229-63-2037
　　E-mail kikakuzaisei@town.kami.miyagi.jp
ホームページ：https://www.town.kami.miyagi.jp/

取組の概要

加美町は全国的に有名な音楽ホールやさまざまなアクティビティを楽しめる施設があり、「交流人口」は創出されていたが、「関係人口」の創出が課題であった。そこで、次代の地域の再生産を担う若者や障がい者等に焦点を当て、地域資源を活かしたクリエイティブなまちづくりに取り組んでおり、「関係人口」を創出して街の賑わいや次世代を担う「定住人口」の創出に取り組んでいる。

評価された点

●交流人口と関係人口を区別して課題解決を図っている。「音楽」で関係人口を増やし、「スポーツ」で交流人口を増やすというわかりやすく、明確なテーマで活動し、成功している点を評価。

●世代を超えて、幅広い生活や価値観をもっている人が参加できるまちづくりである。音楽で心が動き、スポーツで体が動くため、心身にプラスの影響を与えている。不登校の子ども、障がい者、高齢者など、町民のための素晴らしい取り組みである。

●中山間地域で、音楽とスポーツと町民提案による施策で活性化を図っている。地元の高校でも地域づくり学科が設置される等、地域一体となった地域づくりを標榜している様子が見て取れる点を評価。

取組のプロセス

取組を実施するに至った要因・背景や地域課題
その取組を実施するに至った要因・背景や地域課題について記載。

行政や外部からの支援
行政や外部からの支援などについて記載。

きっかけ

・第1期総合計画、小学生の作文「音楽のあふれるまち 加美町」。
・観光客数の減少。
・協働のまちづくり推進課新設。

2012年～　町民提案型まちづくり事業創設
・「公益活動支援事業」「まちのにぎわい創出事業」の2事業でスタート。



2016年～　こども枠（青少年提案事業）スタート
・学生等の提案事業の募集開始。



・閉校した小学校施設を改修。

2017年～　国立音楽院宮城キャンパス開校
・第1期生20名入学（学生移住9名）。



2018年～　ボルダリングパークやくらいWALLオープン
・来場者7,481人（2018年）。



2019年～　中新田B&G海洋センターリニューアルオープン
・インクルーシブなカヌー体験。



2021年～　国立音楽院卒業生が地域で活躍
・音楽療法士として地域の介護事業所に就職。

今後の展望

・音楽を起点とした人の流れ、音楽に関連した企業誘致、文化芸術と産業の融合。
・国産弦楽器の拠点づくり。
・テレワーク推進。
・学生等が地域について知り、考える機会づくり。

受賞者のコメント

バッハホールのある加美町では、音楽を資源と捉え、関係人口や移住定住につなげてきました。現在、音楽を産業に育てることに挑戦しています。自然を活かしたアウトドアスポーツの推進にも取り組んできました。しかし、最大の資源は人です。町民提案型まちづくり事業などにより地域人材の育成を図ると共に、クリエイティブな人材や企業を誘致し、人口が減っても、人材が増える町を目指しています。
「善意と資源とお金が循環する町」は挑戦し続けます。